

令和3年度

指定介護老人福祉施設【特別養護老人ホーム】

法人名称	社会福祉法人ケアネット
事業所名称	さくらほうむ
事業所所在地	東京都世田谷区弦巻3丁目3番17号
事業所電話番号	03-6809-7603

事業者の理念・方針

理念・方針	
事業者が大切にしている考え(事業者の理念・ビジョン・使命など)	<ol style="list-style-type: none">1. 私たちは、お客様が安全で快適な日常生活を過ごせることを願って、安心できるサービスを提供することを目指します。2. 私たちは地域に信頼される介護施設の創造に努めます。3. 私たちは高い見識を持ち、心をこめて誠実に仕事をします。

全体の評価講評

特に良いと思う点

- 法人の生え抜きの40歳代の若手の施設長が、真摯に・慎重に組織の舵取りをしています

今年度の4月より、法人生え抜きの若手が、施設長として就任しています。法人の沿革や事業運営を熟知する職員が、マネジメント層へと昇格しており、好事例といえます。開設2年目として、多様な課題がある中でも、第三者評価における利用者調査・総合満足度は、回答した利用者・家族の70%以上は、「満足・大変満足」と回答しており、昨年度と比較して5%程度上昇しており、施設長の危機感・緊張感に基づく慎重なマネジメントは、高く評価出来ます。今後も、利用者・家族の信頼・期待に応えるべく、サービスの質の向上に努めて欲しいと思います

- なるべく一般的な下着での生活が出来るような排泄支援に努めています

快適性に重点を置いた排泄支援に努めており、オムツやリハビリパンツから脱却出来るよう検討を重ねています。入居時には尿測を行う事で個別の排泄状況を確認し適正な排泄用品の選定に努めています。また、個別の用品や

時間が分かるよう一覧表を用意する事で、携わる職員が統一した方法で支援を実施する事が可能となっています。個別の状態に応じた支援を実施し、適宜検討する事でリハビリパンツからポリエステル素材の下着に移行出来た方も多く、利用者からも好評です。支援の質の向上を図り取り組む事で成果を出す事が出来ており、好事例と言えます。

- 利用者一人ひとりの生活様式や体調に合わせて更衣介助を行っています

入眠時の着替えは、本人の生活習慣や意向や体調を理解した上で支援し、「絶対に着替えをしなければいけない」、という事はないようにしています。当然、汚れた場合や入浴時には更衣を行い、清潔を保つようにしていますが、本人の意思を尊重する事も大切にしています。利用者調査では、「生活する上で必要な介助を受けられていると思いますか」といった設問に、回答した利用者のほぼ全員が、「はい」と回答しています。「困った事はない」、「上手に対応してくれる」等の好意的なコメントも上がっており、第三者としても今後も継続して欲しいと思います。

✓さらなる改善が望まれる点

- 職員個人の考えや価値観ではなく、まずは「組織全体としてどう考えているか」を明確にし、職員に浸透させる事が必要です

支援や業務の考え等における判断軸が職員個人の価値観になっている傾向があります。今後は、組織としての考えや価値観を浸透させるべく、管理者等が法人憲章、行動指針・マインドを日々の支援や業務に紐づけて発信し続ける他、改めて職員の観点から考える機会(会議・研修・委員会等)を設け、職員の理解・共感・納得を得られる取り組み等の強化が必要と思われます。また、職員の理解を深める事で、本来職員が持ち備えている高い見識と介護に対する誠実な思いとが重なり、より利用者の人権を尊重した安心できるサービスの提供につながると期待します。

- 法人の行動指針・マインドにある「お互いを尊重しあい、認めあう」組織にする為に、理念に紐づく職務分掌の整備に期待します

職員自己評価結果では、各職務の持つ業務や、連携に対して、今後改善をしたい事として多くのコメントが記載されています。これを踏まえ、今後は、法人のマインドを土台とした職務分掌を明確に示す事が必要と思われます。これまで不明確だった業務を整理し、各職務での責任の範囲を明確にする事で、業務の優先順位がつけやすく、それぞれに役割を果たす事に集中出来るようになり、トラブルやミスの防止にも繋がる事が期待出来ると思われます。組織の円滑な運営の為に、今後の取り組みに期待します。

- 食事に対する満足度を、さらに高める為に、パン等の提供を検討する事が望まれます

利用者調査の「あなたは施設における食事の献立や食事介助に満足されていますか」の設問に対し、15名全ての利用者が「はい」と回答されています。また、「味付けが良い」、「あちこち食べてるけどここが一番美味しい」等の記述もあり、高い評価を受けています。一方で、「パンが食べたい」との記述も確認出来ました。事業所では、開設以降一度もパンの提供をしていない為、利用者の食事に対する満足度を、さらに高める為に、パン等の提供を検討される事が望まれます。